

第 70 回 九州経済同友会大会 アピール

九州経済が「失われた 30 年」から脱却し、着実な発展を遂げるには、既存産業の再構築を含めて、将来の九州を牽引する次世代成長産業の育成が不可欠である。

九州の次世代成長産業の有力な候補として、高い成長が期待でき九州の強みが活かせる「スマート 1 次産業」、「半導体産業」、「航空・宇宙産業」ならびに「クロスセックビジネス」等が挙げられる。

我々九州の経済人は、こうした次世代成長産業への参入を目指して、積極的にチャレンジし、九州の発展に貢献する。

そこで、我々は次の 3 点に重点的に取り組む。

1 つ目に、チャレンジを確実に成功させるため、社会のニーズの変化を見極め、自社の強みを踏まえた上で、参入市場を選定し、あるいは自ら市場を創造する。そして、成長市場での競争に打ち勝つべく、迅速に商品・サービスを開発し、市場に投入することを目指す。

2 つ目に、成長市場では高度な技術や知識に裏打ちされた商品・サービスの投入が不可欠なため、研究開発投資を強化する。

3 つ目に、商品開発と必要な技術・知識の獲得を迅速かつスムーズに実現するため、他社や大学との共同研究・共同開発等、オープンイノベーションを強かに推進する。

次世代成長産業が確かな発展を遂げるためには、産学官が各々の役割を果たすことが求められる。

国は、新たな産業に制約を課す法律や制度を見直し、九州の自治体は、実証フィールドを提供する等、民間企業がチャレンジしやすい環境を整える必要がある。

また、九州の大学や試験研究機関は、高度な技術・知識に関する研究を拡充し、次世代成長産業が必要とする人材の育成を強化しなければならない。

そして、九州地域戦略会議などの場で合意形成を図り、オール九州の産学官が一体となって行動することを求める。

令和 4 年 11 月 25 日

九州経済同友会

代表委員 青柳俊彦

代表委員 陣内芳博

福岡 経済同友会

佐賀 経済同友会

長崎 経済同友会

熊本 経済同友会

大分 経済同友会

宮崎 経済同友会

鹿児島 経済同友会

沖縄 経済同友会